

人とのつながりと働き方についてのアンケート結果

地域社会の過疎化や高齢化や、社会構造の変化による個人の孤独・孤立の高まり等を踏まえ、県では「新しい暮らし方」(多様性が最大限尊重された、豊かで自分らしい持続的な暮らし方)を一人ひとりがデザインできる社会をめざし、広く県民の皆様に多様な暮らし方の事例やその背景となる考え方などをお伝えしていきたいと考えています。

県民の皆さんが、暮らしの中の「人とのつながり」や「働き方」についてどのような意識をお持ちであるかをお聞きして、今後の取組に役立てることを目的にアンケートを実施しました。

・新しい暮らし方の提案

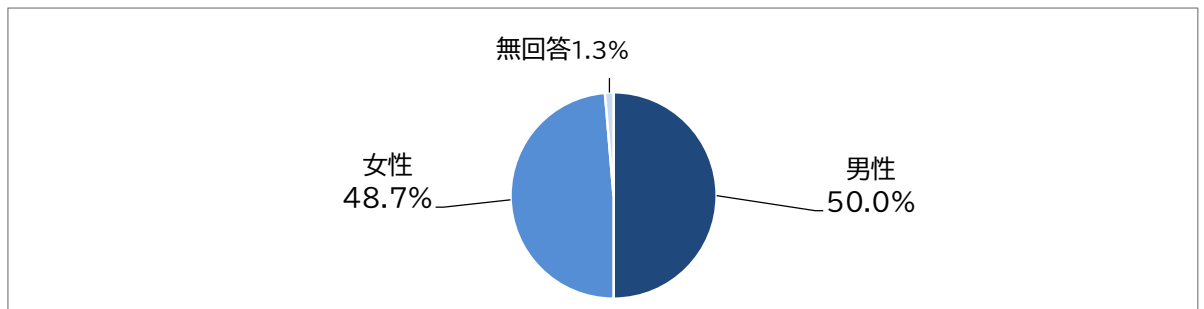
<https://www.pref.shiga.lg.jp/ippan/kurashi/kvoudou/345714.html>

- ★調査時期 : 令和7年11月
 - ★対象者 : 県政モニター 300人
 - ★回答数 : 226人(回収率 75.3%)
 - ★担当課 : 総合企画部 県民活動生活課
- (※四捨五入により割合の合計が100.0%にならない場合があります。)

【属性】

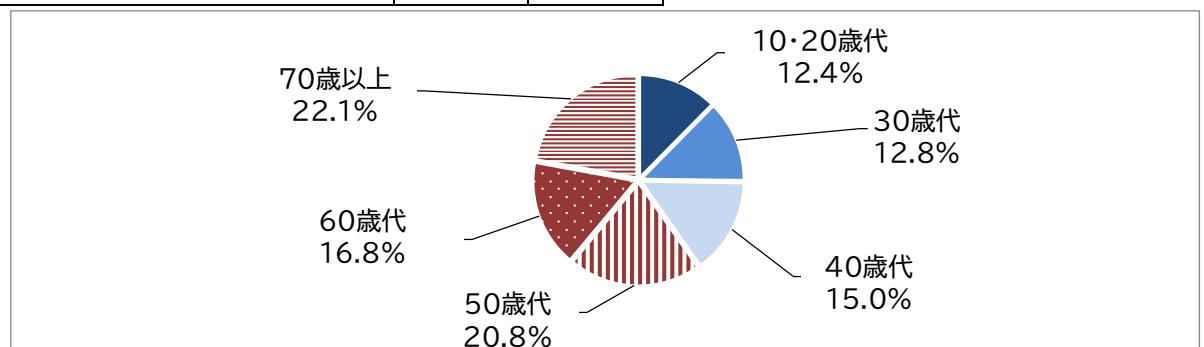
◆性別

項目	人数(人)	割合(%)
男性	113	50.0
女性	110	48.7
無回答	3	1.3
合計	226	100.0



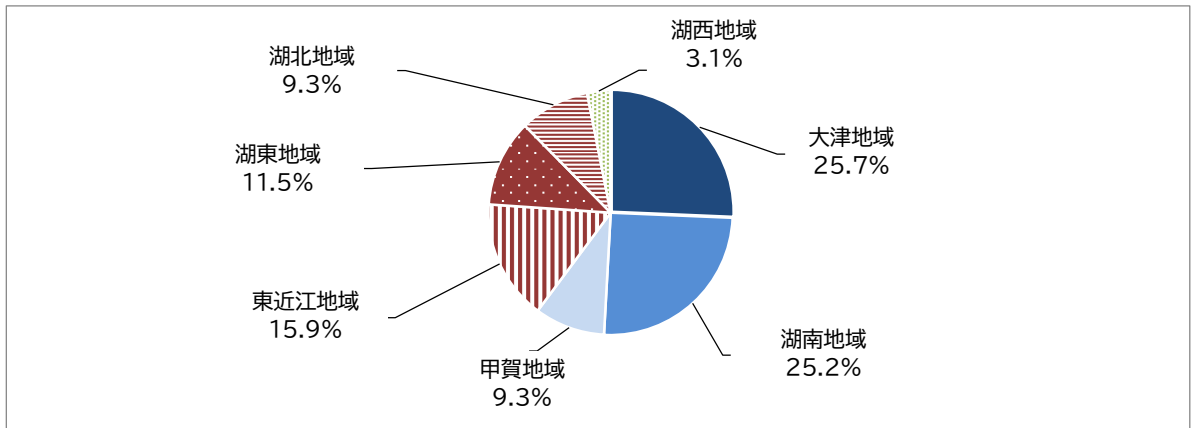
◆年代

項目	人数(人)	割合(%)
10・20歳代	28	12.4
30歳代	29	12.8
40歳代	34	15.0
50歳代	47	20.8
60歳代	38	16.8
70歳以上	50	22.1
合計	226	100.0



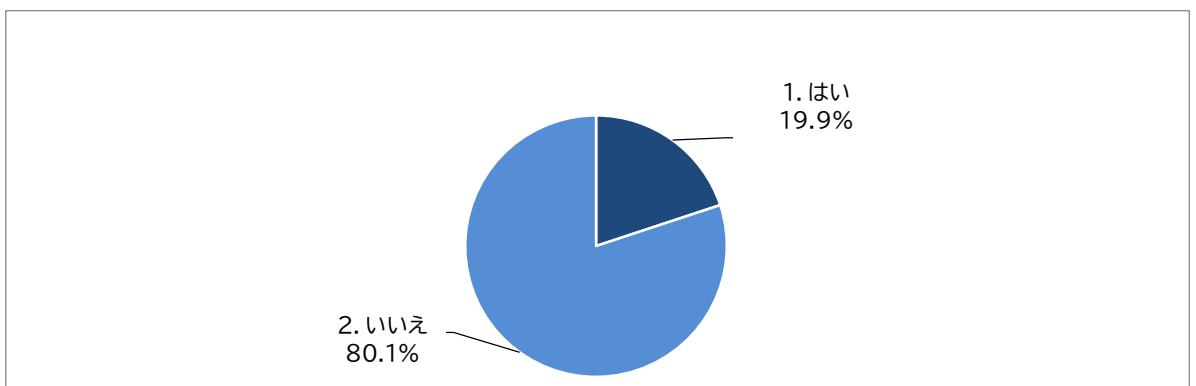
◆地域

項目	人数(人)	割合(%)
大津地域	58	25.7
湖南地域	57	25.2
甲賀地域	21	9.3
東近江地域	36	15.9
湖東地域	26	11.5
湖北地域	21	9.3
湖西地域	7	3.1
合計	226	100.0



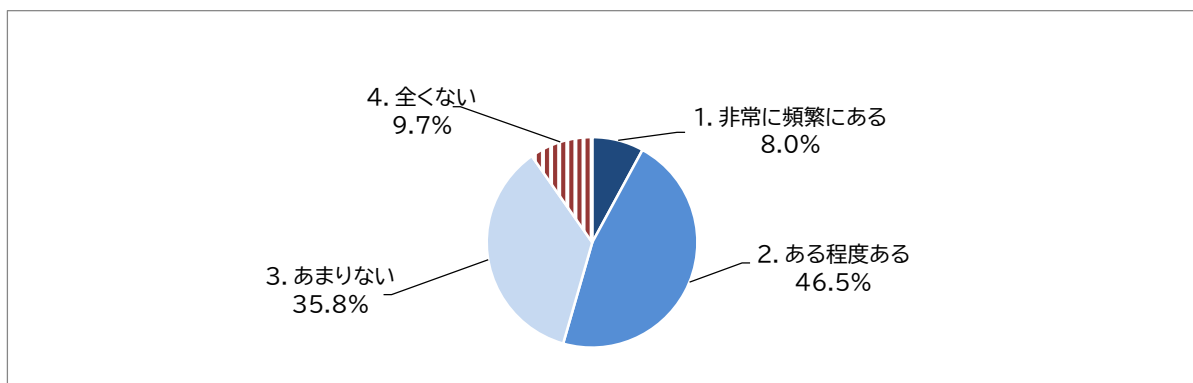
問1 現在、育児をされていますか。
(n=226)

項目	人数(人)	割合(%)
1. はい	45	19.9
2. いいえ	181	80.1
合計	226	100.0



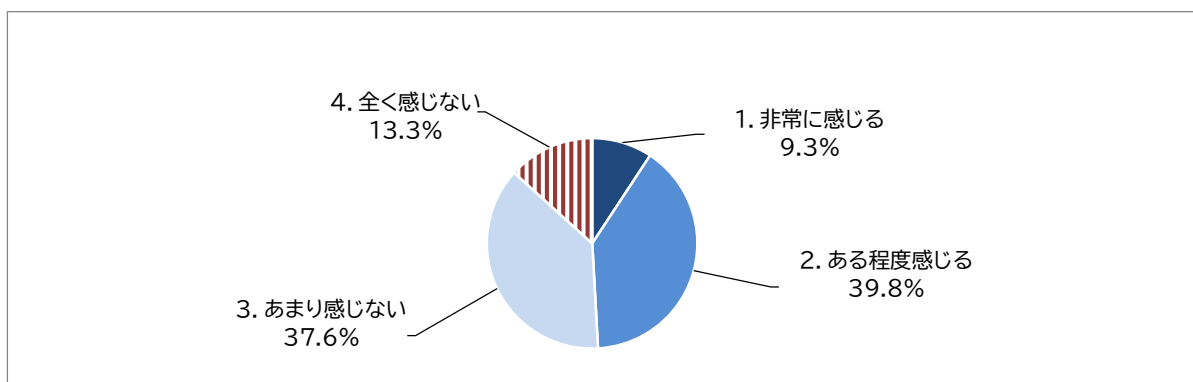
問2 ご近所やお住まいの地域の方々との交流はどの程度あると感じますか。
(n=226)

項目	人数(人)	割合(%)
1. 非常に頻繁にある	18	8.0
2. ある程度ある	105	46.5
3. あまりない	81	35.8
4. 全くない	22	9.7
合計	226	100.0



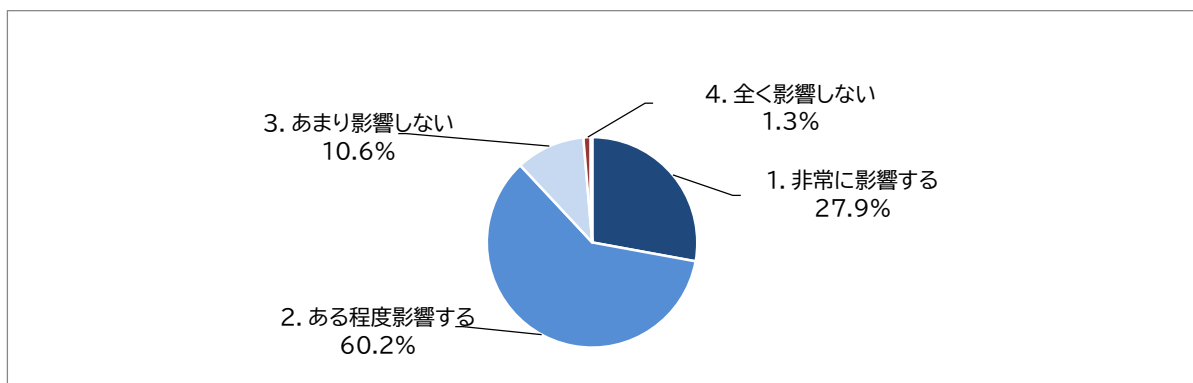
問3 SNSやオンライン上のつながりを通じて、人とのつながりを感じる機会がありますか。
(n=226)

項目	人数(人)	割合(%)
1. 非常に感じる	21	9.3
2. ある程度感じる	90	39.8
3. あまり感じない	85	37.6
4. 全く感じない	30	13.3
合計	226	100.0



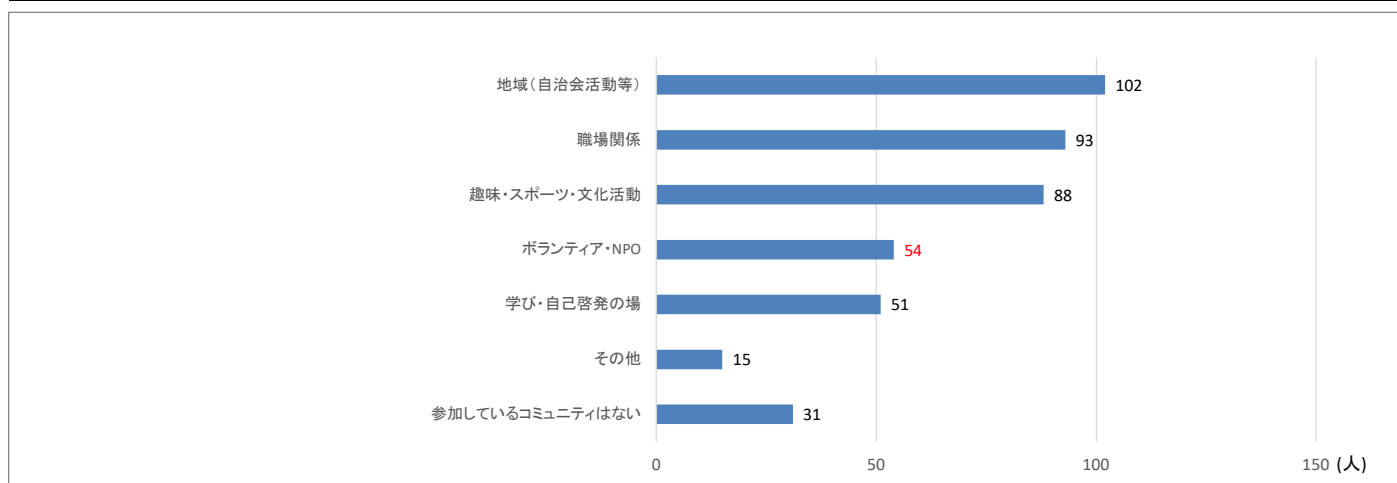
問4 「人とのつながり」が暮らしの満足度にどのくらい影響すると感じていますか。
(n=226)

項目	人数(人)	割合(%)
1. 非常に影響する	63	27.9
2. ある程度影響する	136	60.2
3. あまり影響しない	24	10.6
4. 全く影響しない	3	1.3
合計	226	100.0



問5 現在、関わっておられる「人とのつながりのあるグループや活動」を選択してください。
(「参加しているコミュニティはない」を選択した場合を除き、回答チェックはいくつでも n=226)

項目	人数(人)	割合(%)
地域(自治会活動等)	102	45.1%
職場関係	93	41.2%
趣味・スポーツ・文化活動	88	38.9%
ボランティア・NPO	54	23.9%
学び・自己啓発の場	51	22.6%
その他	15	6.6%
参加しているコミュニティはない	31	13.7%

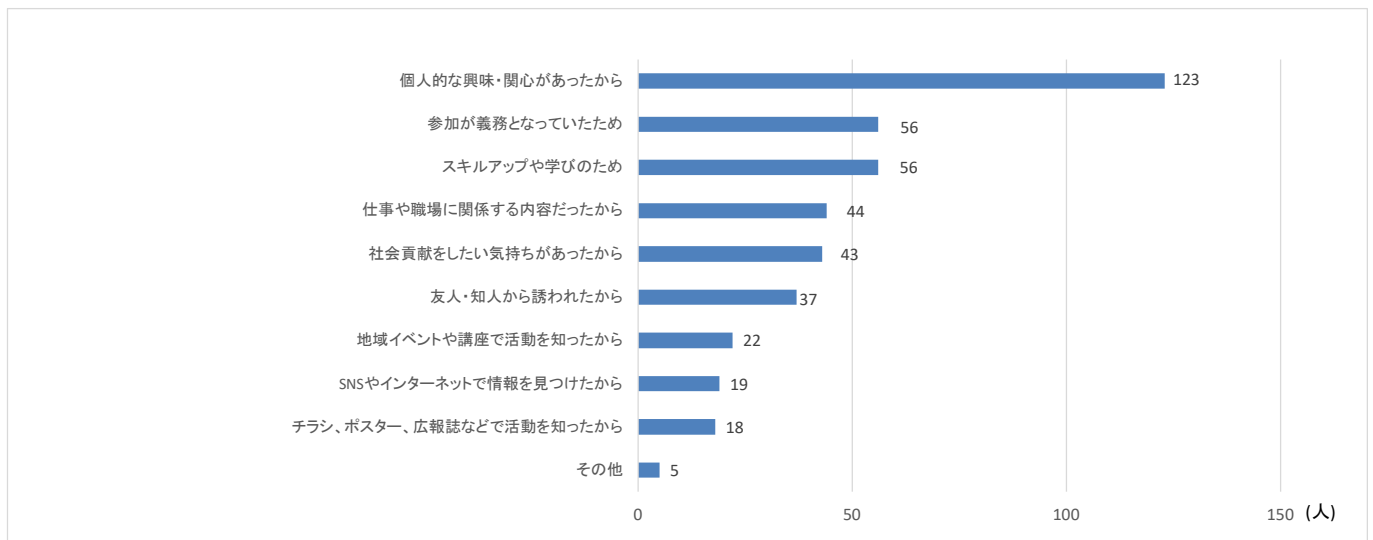


その他の内容(抜粋)

- ・近くの友人
- ・知り合い
- ・同窓会、飲み会、寺へお参り等
- ・学校
- ・学生時代の友人、昔の職場の方との繋がりは転職するたびに増えます
- ・子供の通う幼稚園、子供の支援機関
- ・PTA活動、自治体の審議会委員や評議会委員などでの活動
- ・民生委員
- ・生協での活動
- ・SNS
- ・YouTubeライブ配信等のチャット機能

問6 問5で「参加しているコミュニティはない」以外を選択した方におたずねします。問5で選択したグループや活動に参加された理由は何ですか。
(回答チェックはいくつでも n=195)

項目	人数(人)	割合(%)
個人的な興味・関心があったから	123	63.1%
参加が義務となっていたため	56	28.7%
スキルアップや学びのため	56	28.7%
仕事や職場に関係する内容だったから	44	22.6%
社会貢献をしたい気持ちがあったから	43	22.1%
友人・知人から誘われたから	37	19.0%
地域イベントや講座で活動を知ったから	22	11.3%
SNSやインターネットで情報を見つけたから	19	9.7%
チラシ、ポスター、広報誌などで活動を知ったから	18	9.2%
その他	5	2.6%

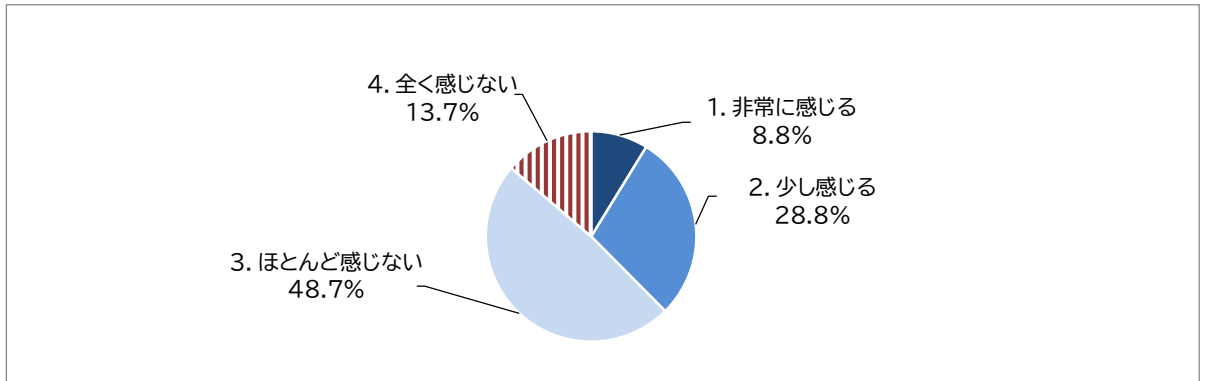


その他の内容(抜粋)

- ・近所づきあいはコミュニティとして当然のことである。
- ・協力依頼があったから。
- ・自治会活動を通して、地域住民間の交流を促進したい、活動を理解していただきたいとの思いから参加した。

問7 現在の暮らしの中で「孤独」を感じることはありますか。
(n=226)

項目	人数(人)	割合(%)
1. 非常に感じる	20	8.8
2. 少し感じる	65	28.8
3. ほとんど感じない	110	48.7
4. 全く感じない	31	13.7
合計	226	100.0



上記(問7)の理由を教えてください。【任意】
※ 回答内容をAIで分析した結果を掲載

「1. 非常に感じる」の主な意見

- ・日常的な会話機会の不足。「終日会話のない日がある」「全く人付き合いがない」。
- ・地域コミュニティとの接点不足。転居による「コミュニティが広がらない」「地域に知り合いはつくりにくい」。
- ・特定のライフステージにおける孤立。乳幼児の育児中や個人事業主、専業主婦など、外出や人との接触機会が極端に少ない状況が孤独感を増幅。
- ・身近な人との深い精神的なつながりの欠如。「家族が自分の話を理解してくれていない」「友人と話しても本当の自分のことを話しにくい」。
- ・加齢に伴う親しい人との別れ。「後期高齢者になって、友人が亡くなっていく時」。
- ・コミュニケーションへの苦手意識や他者との価値観の差異。「人間関係が得意でない」「意見や説明に伝達方法や言葉の選択表現の難しさ」。

「2. 少し感じる」の主な意見

- ・以前に比べて人との交流が減った。「友人と会う機会が減った」「仕事以外での人との交流が少ない」。
- ・家族構成やライフスタイルの変化。
- ・加齢や引退による社会的なつながりの減少。「高齢化に伴い今までの交流ができづらい」「リタイアしてから、やはり人との交流は激減した」。
- ・新しい環境での人間関係構築の難しさ。「他県から転居してきたのでそういうつながりがない」「近所に同世代で親しく付き合う人がいない」「地元ではなく知り合いがいない」。
- ・多忙さや単身生活が交流機会を制限。「仕事が忙しくて、趣味や自分のしたいことができない」「休日の行動も原則ひとりで行動することが多く他人との関わりが希薄」。
- ・新しいコミュニティへの参加への躊躇。「いまさらなあ」と足が遠のいている。

「3. ほとんど感じない」の主な意見

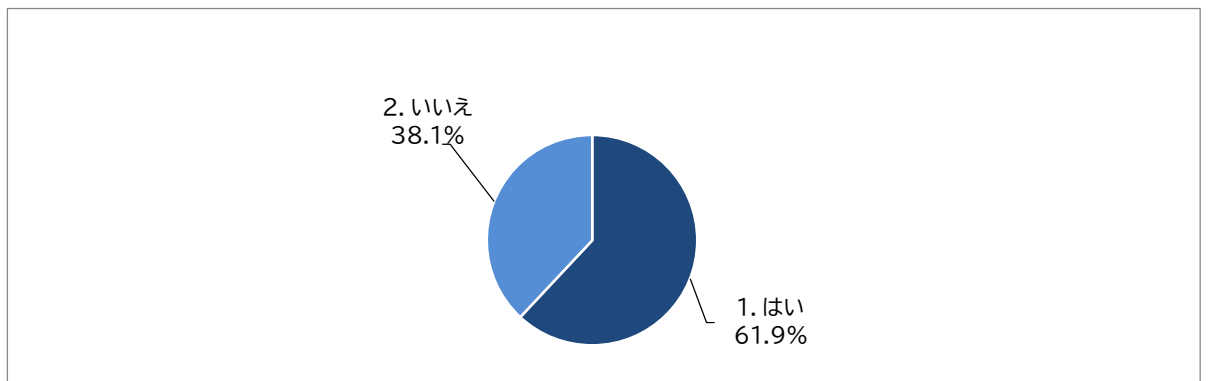
- ・家族との日常的な交流や絆が孤独を感じない最大の理由。「家族がいる」「夫婦で美術館巡り」。
- ・多世代での交流も重要。「近くに子供 孫が住んでいてよく顔を出す」。
- ・複数のコミュニティや活動に参加。「地域でボランティア、シニア大学、無料講座に参加」「民生委員活動」「趣味を通じての他人との関わり」「ボランティア活動」。
- ・主体的に社会と関わる姿勢。「常に能動的に活動」「仕事もやりがいのある内容で、趣味も時間が取れる」。
- ・自分の時間を充実させたり、一人の時間を肯定的に捉える傾向。「自分からやりたいことはやっている」「一人でいるのが苦にならないタイプ」「そもそも孤独(一人)時間が好き」。
- ・現在の生活状況全体に満足。「仕事関係も家族関係も良好で、日々助けられながら生活している」。
- ・テクノロジーを活用したつながりも孤独感を軽減。「何らかの連絡手段がつながっている」「スマホなどでグループLINEでも情報交換」。

「4. 全く感じない」の主な意見

- ・家族や友人との関係性が非常に良好。「友達家族に恵まれている」「家族によって心が満たされている」「両親と同居していて、インターネット上で通話しながらゲームができる友人たちがいる」。
- ・自己肯定感の高さ。「自分時間がとても充実している」「もともと一人が苦痛でない」。
- ・社会貢献や多様なコミュニティへの積極的な参加。「常にボランティア活動」「多くのグループ、団体に所属し、多方面の活動」。
- ・変化に適応し、必要な人間関係を築き直す能力が高い。「生活をリセットするたびに本当に必要な人間関係だけが手元に残ってきた」。
- ・独自の価値観を持ち、それに沿った生活を送ることで孤独を感じない。

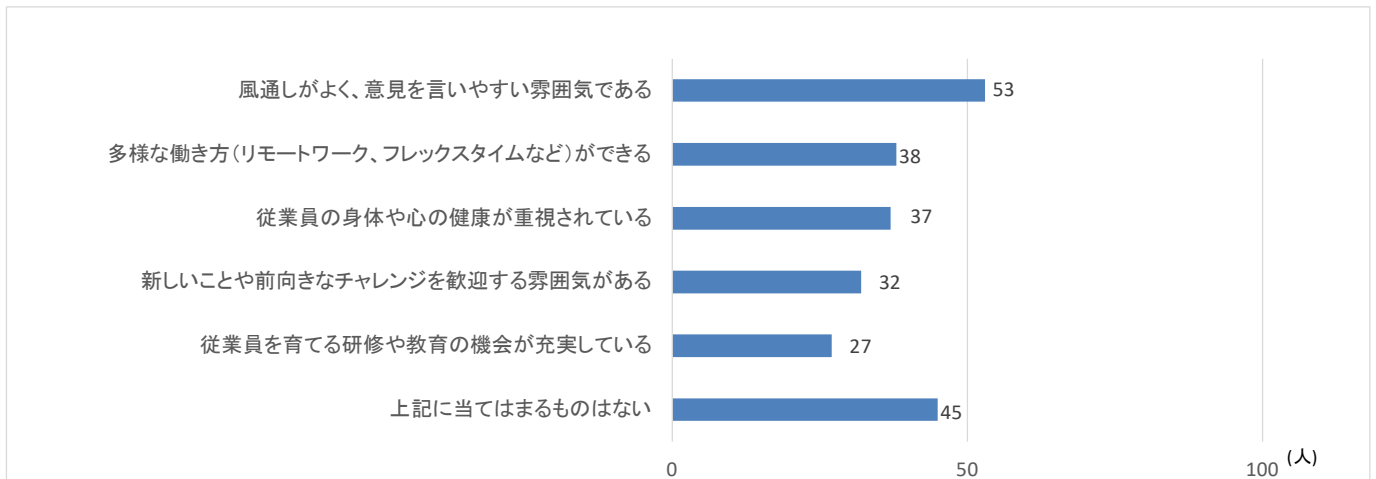
問8 現在、何らかの形で働いておられますか。(アルバイト、パート等含む)
(n=226)

項目	人数(人)	割合(%)
1. はい	140	61.9
2. いいえ	86	38.1
合計	226	100.0



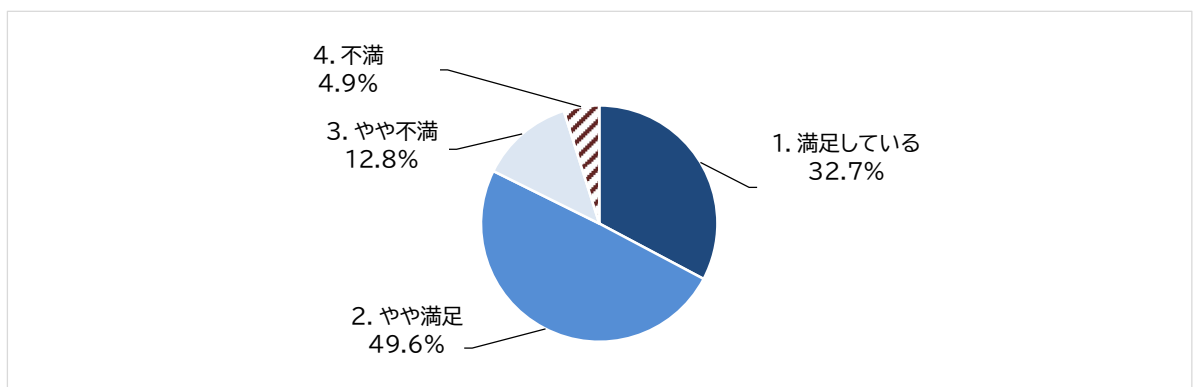
問9 問8で「1. はい」を選択した方におたずねします。あなたの職場で該当するものを選択してください。
 (「上記に当てはまるものはない」を選択した場合を除き、回答チェックはいくつでも n=140)

項目	人数(人)	割合(%)
風通しがよく、意見を言いやすい雰囲気である	53	37.9%
多様な働き方(リモートワーク、フレックスタイムなど)ができる	38	27.1%
従業員の身体や心の健康が重視されている	37	26.4%
新しいことや前向きなチャレンジを歓迎する雰囲気がある	32	22.9%
従業員を育てる研修や教育の機会が充実している	27	19.3%
上記に当てはまるものはない	45	32.1%



問10 今の暮らしに満足されていますか。
 (n=226)

項目	人数(人)	割合(%)
1. 満足している	74	32.7
2. やや満足	112	49.6
3. やや不満	29	12.8
4. 不満	11	4.9
合計	226	100.0



上記(問10)の理由を教えてください。【任意】

※ 回答内容をAIで分析した結果を掲載

「1. 満足している」の主な意見

- ・健康でいられること、身体が動くことに感謝している
- ・退職後も趣味やボランティア、仕事で充実している
- ・家族が元気で安定した生活ができている
- ・地域や近所に話せる人がいるなど人間関係が良好
- ・自給自足や家庭菜園などで生活に張りがある
- ・経済的に問題なく暮らせている
- ・自分のやりたい仕事や趣味に時間が使える
- ・過不足ない落ち着いた生活ができている
- ・仕事とプライベートのバランスが取れている
- ・社会貢献やボランティア等の社会活動に満足している

「2. やや満足」の主な意見

- ・基本的に健康で自由に行動できることが満足感の基盤
- ・経済的には余裕はないが、最低限の衣食住は確保できている
- ・家族や地域の人々とある程度の交流がある
- ・将来の健康や経済面に多少の不安がある
- ・現役時代の仕事に充実感があるが、地域交流は不十分
- ・趣味やボランティアを楽しめているが、負担も感じる
- ・年金生活だが物価高や税負担に不安がある
- ・夫婦関係や家族関係は良好で生活は安定している
- ・自由な時間があるが、将来に対する漠然とした不安がある
- ・社会的孤独感や情報不足、ジェネレーションギャップを感じる

「3. やや不満」の主な意見

- ・経済的余裕が乏しく、生活不安が強い
- ・健康面の問題や障害による制約が多い
- ・職場環境や待遇に不満(非正規、賃金低下など)
- ・コロナ禍による人間関係希薄化や社会問題への不安
- ・住環境の不満(賃貸住まいの騒音・家賃高騰など)
- ・楽しみや余暇時間が少なく、生活の張りがない
- ・高齢化による将来の介護・孤独に対する不安
- ・社会参加や仕事での役割喪失感、やりがいの欠如
- ・家庭や子育ての負担感が強い
- ・行動に踏み切れない不安やネガティブな心理状態

「4. 不満」の主な意見

- ・保育園不足による就労困難、子育てと仕事の両立困難
- ・物価高と給与の不均衡、経済的苦境
- ・地域コミュニティの希薄化、人間関係の孤立感
- ・年金生活による経済的不安と生活苦
- ・転勤・引っ越しによる地域馴染みにくさ
- ・職場のハラスメントや労働環境の悪さ
- ・新しいことへの挑戦や変化に対する迷いや不安
- ・子どもの友達関係や地域の安全性の問題
- ・社会的孤立感、生活の意義や役割喪失
- ・今の生活や職場環境を変えたいという強い希望

問11 「新しい暮らし方」や「人とのつながり」「働き方」等に関して、ご意見がありましたらお聞かせください【任意】

※ 回答内容をAIで分析した結果を掲載

【人とのつながり】カテゴリー

1. 地域コミュニティ・自治会・交流の現状と課題

- ・自治会活動の高齢化・若年層の参加減少、地域のつながりの希薄化が指摘されている。
- ・地域行事やPTAの減少、自治会参加への抵抗感(自治会費は払いたいが参加は嫌)がある。
- ・行政や自治体の連携不足(市町村間の縦割りや情報共有不足)が体感されている。
- ・人と人が気軽に集まれる場所やイベントが不足している、特に転入者や子育て世代がコミュニティに入りづらいという声。
- ・地域の負担が一部に偏る問題や地域によるつながりの差、無理強いの是非についての論点。

2. 高齢者のつながりと支援

- ・高齢者の孤立への不安、引きこもりや孤独死防止、支援施策への期待。
- ・高齢者同士や多世代間の交流の重要性、適度な支え合いの仕組みを求める意見。
- ・年齢や体力に応じた働き場やボランティア機会の提供、学習支援や情報提供の必要性。
- ・ネット・デジタルを活用したつながりの新しい形への期待もある。
- ・例えば「シニアサロン」「社会参加ボランティア」「サポート活動」などの活動報告や要望。

3. 働き方・職場での人間関係と満足度

- ・経営側の問題(上意下達で効率悪化、人間関係の希薄化、発想不足)と従業員の孤立感が指摘されている。
- ・多様な人材を活かす組織作り、効率向上には良好な人間関係が不可欠。
- ・時短労働やベースアップにより生活のゆとりが生まれ、地域の人間関係にも好影響がある。
- ・職場でのコミュニケーションや新しい働き方の重要性(リモート、多様な働き方)への言及。
- ・年齢や働き方の多様性への配慮、働きやすい環境整備の要望。

4. 外国人住民との共生・多様性の受容

- ・外国人増加に伴う生活環境の変化への対応、行政レベルでの共生推進の必要性。
- ・固定観念の払拭、多様性理解の促進、差別や偏見の解消を求める声。
- ・多文化交流や多様な背景をもつ人々を繋げる施策の期待。

5. オンライン・デジタルを活用した新しいつながり

- ・コロナ禍以降の働き方や交流のオンライン化の認識。
- ・SNSやオンラインコミュニティ、在宅ワークが新たな社会参加の手段となっている。
- ・対面交流の大切さも再認識しつつ、適切にデジタル利用を組み合わせる意見。
- ・24時間相談窓口や気軽に接触できるオンライン相談サービスへの期待。

【生活の満足度】カテゴリー

1. 生活のゆとりと心身の健康

- ・生活における「心の豊かさ」や「精神的な満足」「適度な距離感でのつながり」の重要性。
- ・健康や体力の変化に合わせた無理のない暮らし方の模索。
- ・趣味や活動(スポーツ、コーラス、ハイキング)による生活充実。
- ・スローライフ志向や自然環境に根差した暮らしの希望。

2. 働き方と経済的安定

- ・給与水準の低さや長時間労働の課題、労働時間の見直しの必要性。
- ・産休育休や短時間労働、リモートワークなど柔軟な働き方を求める声。
- ・フルタイムが多い求人に対して適切な多様性のある仕事の需要。
- ・労働意欲はあるが年齢制限や職場環境により働けない現実。
- ・家庭や子育ての状況と両立した働き方支援。

3. 若者・子育て世代のつながりと支援

- ・若者の都市部流出や地域参加の難しさ、交流機会の不足。
- ・学びや就労、子育てに関わる情報発信や相談窓口の充実の要望。
- ・子育て世代がつながれるコミュニティやイベントの不足。
- ・転入者が地域社会に受け込みづらい現状。

4. ボランティアや社会参加の機会

- ・ボランティア活動への意欲はあるが時間や体調、制度上の制約がある。
- ・高齢者や障害者が活躍できる場づくり、行政や地域の支援を望む声。
- ・生協の支えあい活動のような新しい参加の形の期待。
- ・社会参加を通じて生きがいや充実感を得ている実例。

5. 安心・安全な暮らし環境の確保

- ・孤独死防止や一人暮らし高齢者の安心対策への期待。
- ・地域の防犯や安全、食・医療・産業の総合的な地域活性化の必要。
- ・行政による包括的サポート体制の強化。
- ・持続可能で環境にも配慮した生活環境を求める意見。